

いわてアートサポートセンター

<賛助会員募集>

NPO法人いわてアートサポートセンターでは、寄附税の優遇措置が可能な認定 NPO 法人化を目指し当法人の理念に賛同し事業を応援して下さる個人・法人の会員を募集しております。
岩手県内での文化芸術の推進をサポートならびに、拠点となる文化施設の運営へのご協賛・ご参加をお願い申し上げます。

【対象】いわてアートサポートセンターのサポーターとして、支援して下さる個人・法人

【総会議決権】なし

【会費等】年会費 個人 3,000 円 / 団体 6,000 円

【会員特典】

- ・当法人が発行する通信等をお届けします
- ・自主企画公演チケット優先予約&入場料10%割引 (お一人様2枚まで)
- ・主催講座・ワークショップの優先受講申込
- ・【風のスタジオ】【リハーサル室】【風のアトリエ】利用料金10%割引
※人件費など直接経費は除く

【期間】1年間 (4月1日~翌年3月31日)
【申込・お問合せ】いわてアートサポートセンター
TEL 019-656-8145

詳細 HP→



風のスタジオ情報

劇場演劇部 「光になったら」

演劇部が一枚もない宮古市。演劇の大会に出ることはできないけれど、それでも全力で挑む、夏休みだけの演劇部。

予約フォーム→



【作・演出】 穴迫信一 (ブルーエゴナク)

【出演】 山岸聖恋 (宮古商工高校3年)

【演出助手】 菊池圭吾 (釜石高校2年)

【日時】 2024年8月12日 (月・祝) 14時

【場所】 風のスタジオ

【入場料】 一般1000円 / U18 500円 (当日500円増)

※U18→18歳以下対象。チケット購入時に年齢のわかるものをご提示ください。未就学児不可。全席自由。

【プレイガイド】 風のスタジオ カワトク

もりおか町家物語館

もりおか啄木・賢治青春館

発行者 特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター
発行日 2024年8月1日

【本部】

〒020-0874 盛岡市南大通1丁目15-7 盛岡南大通ビル3階
TEL(019)656-8145 FAX(019)656-8146
※土日及び祝日・年末年始休業
E-mail info@iwate-arts.jp URL https://iwate-arts.jp

【肴町事務所・風のスタジオ】

〒020-0878 盛岡市肴町4-20 永卯ビル3階
TEL(019)604-9020 FAX(019)604-9021
E-mail kaze@iwate-arts.jp
URL https://kaze.iwate-arts.jp
<窓口営業時間> 月~金 9:30~17:30
<施設利用可能時間> 9:30~21:30
※土日及び祝日・年末年始休業

【もりおか町家物語館】

〒020-0827 盛岡市鉤屋町10-8
TEL(019)654-2911 FAX(019)654-2913
E-mail machiya@iwate-arts.jp
URL https://machiya.iwate-arts.jp
<開館時間> 9:00~19:00 (最終入場 18:30)
※浜藤ホールのみ利用時は 21:30 まで
<大正蔵1階ショップ&カフェ営業時間> 10:00~17:00
<休館日> 毎月第4火曜 (祝日の場合はその翌日)
年末年始 12/29~1/3
<入館料> 無料 ※一部企画展は有料の場合があります。

【もりおか啄木・賢治青春館】

〒020-0871 盛岡市中ノ橋通一丁目1-25
TEL(019)604-8900
E-mail seishunkan@iwate-arts.jp
URL https://seishunkan.jp
<開館時間> 10:00~18:00 (最終入場 17:30)
<2階展示ホール> 10:00~17:30 (最終入場 17:00)
<喫茶コーナー> 10:00~17:30 (ラストオーダー 17:00)
<ミュージアムショップ> 10:00~17:30
<休館日> 毎月第2火曜 (祝日の場合はその翌日)
年末年始 12/29~1/3
<入館料> 無料

本部



風のスタジオ



もりおか啄木・賢治青春館



もりおか町家物語館



大正蔵1階
「時空の商店街」
SHOP & CAFE
インスタグラム



8

もりおか町家・風の通信



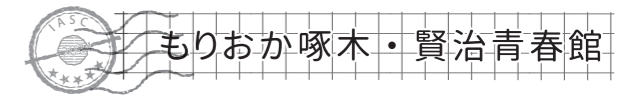
<もりおか町家物語館>

今年も「黒川さんさ門付け」が

8月14日(水)に

鉤屋町界隈で行われます。

※写真は以前のものです。



★8月13日(火)が休館日です★

第2回企画展

「啄木・賢治と歩く盛岡」



【日時】 開催中~9月1日(日)
10:00~17:30 (最終入場 17:00)

【場所】 2階 展示ホール

【内容】 夏の観光客と市民を対象に「啄木と明治の盛岡」と「賢治と盛岡」の二つの視点で盛岡の街を紹介する企画展。賢治研究家の牧野立雄さん、啄木ソムリエの山本玲子さんが監修。

【入場料】 無料

詩作講座 2024

県内の第一線で活躍する詩人を講師に迎えて、3回シリーズの詩づくりの体験講座を行います。

【日時】 8月31日(土) 9月14日(土)
9月28日(土) 全3回
各回 13:30~15:30

【会場】 2階 体験学習室

【定員】 10名

【参加料】 2,000円 (全3回)

【講師】 照井良平 (岩手県詩人クラブ会長)

【申込・問合せ】

いわてアートサポートセンター(風のスタジオ)
TEL 019-604-9020 (平日 9:00~18:00)

※申込は8月1日(木)から(土日祝日は除く)

★8月27日(火)が休館日です★

【盛岡市所蔵美術品展】

「海外への憧憬」

盛岡市所蔵の美術品の中から、海外への憧憬をテーマに集めた作品を展示中です。ぜひご覧ください。

＜会期＞開催中～8/25(日)
9:00～19:00(最終入場18:30)

＜会場＞大正蔵1階 展示コーナー



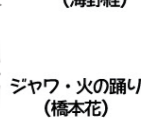
朝市へ(パキスタン)
(海野経)



サラマンカの教会
(金子千恵子)



グラナダ郊外
(里見勝蔵)



ジャズ・火の踊り
(橋本花)



パリの裏街にて
(橋本花)

「大正蔵1階 SHOP&CAFE」

＜オススメ商品のご案内＞

今月で紹介するのは、
盛岡市の友好都市「沖縄県うるま市」の
すぐりむん(すぐれもの)

今年も「うるまのすぐりむん」コーナー開催中です。お馴染みのちんすこうやシークワサー果汁をはじめ、うるま市の紅型作家さんによりひとつひとつ丁寧に作られたコースター等揃っております。勉強・スポーツ・恋愛等『勝ち』を誘うお守りもありますよ。期間限定ですのでお早めどうぞ。

塩入紅型勝ち守り
1,308円(税込)



この他、ショップでは盛岡の工芸品や地酒、銘菓など、賑わいに溢れた品揃えで皆様のお越しをお待ちしております。

営業時間：10:00～17:00

町家のお化け屋敷 2024



日時：開催中～8月20日(火)
10:00～17:00(最終入場16:30)
※8月14日(水)のみ10:00～18:30(最終入場18:00)
場所：もりおか町家物語館 浜藤ホール
料金：一般800円、小・中・高生400円
未就学児無料

＜盛岡の怖い話～夜の学校～＞

日時：会期中毎週水曜日14:00～
場所：もりおか町家物語館 大正蔵2階
料金：無料 ※申込不要

＜高橋克彦恐怖映画ポスター展＞

日時：開催中～8月20日(火)
場所：もりおか町家物語館 大正蔵2階
料金：無料

コミュニティスペース DOMA
展示情報

石澤和竿毛鉤工房記念展
盛岡に残された和竿と毛鉤展

わさおけばり
石澤和竿毛鉤工房の
盛岡竿、盛岡毛鉤を展示します。

日時：開催中～8月7日(水)
10:00～16:00

岩手大学絵画研究室 三ッ廣 咲 卒業制作展

「目に見えるものをより印象付ける、目に見えないものの存在」を意識した絵画の展示です。

日時：8月10日(土)～12日(月・祝)
9:00～19:00(最終入場18:30)
※最終日17:00まで

鉦屋町界隈
情報

残したい盛岡のお盆
「黒川さんさ門付け」

2024年8月14日(水)
18:00 大慈寺境内
18:55 旧藤村家・中村書道教室
19:15 佐藤青果店
19:40 もりおか町家物語館
※荒天時中止の場合あり

◆交通規制 18:45～19:45
鉦屋町通り一部区間が歩行者専用道路・車両通行止め
◆会場までのアクセス
公共交通機関をご利用ください。盛岡駅東口13番、14番バス乗場より、岩手県交通「矢巾営業所」、「日詰駅前」行きに乗車、バス停「南大通二丁目」で下車、徒歩3分。

これからも残していきたい、盛岡の風景があります。盛岡市鉦屋町界隈ではお盆の18時頃から町内でご先祖を迎える迎え火・ご先祖をお送りする送り火が始まり、8/14は伝統さんさ「黒川さんさ」の門付けが行われます。●8/14・15 迎え火、8/16 送り火・舟っこ流し

【お問合せ先・最新情報】
NPO 法人盛岡まち並み塾 事務局
〒020-0827 盛岡市鉦屋町3-15
「大慈清水御休み処」内
※大慈清水のすぐ近くです♪

TEL 019-656-1603
営業時間 10:00～16:00
(水曜日定休・夏季休業あり)

問合せ先 HP ↓



折鶴アート展 一枚から広がる連鶴の世界

作家ぴとによる折鶴アート展です。

日時：8月13日(火)～9月9日(月)
9:00～19:00(最終入場18:30)
※初日13:00～
最終日16:00まで

会場：もりおか町家物語館 母屋1階
(※旧カフェ DOMA)

※こちらで作品を展示することができます。詳しくは当館までお問合せください。

リレーコラム No.92

盛岡市が誇る「舟っこ流しと、黒川参差踊」について

旧盆が来ると、幼い頃のにぎやかな盆踊りと、舟っこ流しが思い出されます。(昭和16年～18年)我が家に親戚が集い賑やかでした。

さて、舟っこ流しには、2つの話が残っています。南部五代行信の五女(しほこ姫又は、七女麻久子姫)が、享保年間尊敬している、大慈寺の万叡和尚に、施餓鬼を行いたいと北上川新山川原で法要を行い、後代々寛政(1800年)迄続けられました。一方文化12年(1815年)、津志田遊郭「松前屋」の大神、小時の2人の人気花魁が、北上川をどうしても渡らなければならず数十名者達と渡り始めました。中流で舟が転覆し濁流に吞まれてしまいました。その後松前屋に幽霊が出ると噂が飛び、パツタリと火が消えたように寂れてしまいました。

そこで翌年、盆に慰めるため、川施餓鬼が行われました。これが文化13年(1816年)からのお盆行事として、現在迄続くことになりました。

明治末～大正初めは、各家庭で内親が亡くなれば藁で編んだ舟を流しました。(舟に火を付け始めたのは明治期頃)

時代とともに、いろいろ形が変わってきましたが、祖先供養とともに、戦中戦後は英霊供養、昭和46年は、全日空機事故慰霊、平成23年3月11日の東日本大震災犠牲者の霊と合わせて供養を行っています。昭和30年初めは、火の付いたまま石巻まで流されたということです。

夕顔瀬橋際でも20数年前まで流されていましたが、現在は明治橋際のみで今年は11隻の流舟です。約300年続いており、祖先の霊に祈ります。災害の犠牲者の霊、日常の平穏、無事を願って郷土の川面を紅蓮の炎で赤く染め夕闇の中に溶け込んでいく姿をぜひ守って残していってほしいです。

盆のもう一つの楽しみは、黒川さんさ踊りの門付け復活があります。

2003年盛岡まち並み塾設立の折、「雛祭り」の他、目玉になる祭りは…と探していた所、盆の門付けの踊りがあった事を思い出しました。4年後、2007年黒川の庭元にお願ひし復活1年目として、祖先をお迎えする「迎え火」が焚かれる風景の中で勇壮で躍動感あふれる踊りが始まりました。

黒川さんさは、三ツ石神社由来のさんさと異なり、「前九年の役」に源義家の関東武士が安倍貞任との戦の折、黒川集落の高陣山(たかじんやま)に兵を進めましたが、安倍氏の守りが堅く攻めあぐねていました。武士団は士気を高め鼓舞するため、夜を徹して踊り明かしました。

激しい動きと派手な響きによって豪快でした。その囃子や踊りを好奇の目でながめ、体の中で受け止めた住民は、その後「家内安全」「五穀豊穡」の祈りを込め踊り継いだと伝えられています。(陣を張った馬小屋と思われる跡地に岩にくい込む馬跡の痕跡が残っています。)芸の流出を避けるため家の長男にしか継承されませんでした。

昭和43年(1968年)に復活され、男女問わず広く門を開き正確な伝承に努めている現状です。(前松本頭取の話しを参考)